

小名浜道路において常磐自動車道の上に架かる 2つめの橋（仮称6号橋）が架設されました！

1. 概 要

小名浜道路において、常磐自動車道の上を跨ぐ区間を含む石塚添野地区～上山田地区のL=2.5kmについては、NEXCO東日本（東日本高速道路株式会社）に工事を委託しております。令和5年8月29日（火）の夜間から朝にかけて、常磐自動車道を通り止めにし、送出し架設工法により、仮称6号橋（P3橋脚～P4橋脚間）が架設されました。

工 事 名：小名浜道路小名浜跨道橋（鋼上部工）工事
発 注 者：東日本高速道路株式会社 東北支社
受 注 者：株式会社 横河ブリッジ
架設箇所：福島県いわき市山田町吉丁田地内
形 式：鋼6径間連続非合成少数鈹桁橋
橋 長：L=294.000m
支 間 長：3@44.000m+54.000m+57.000m+49.000m
鋼材重量：約1,145t（今回架設重量：約365t）

【用語の説明】

送出し架設工法：重要交差道路や鉄道、河川等により桁下にクレーンを設置することが難しい場合に採用されることが多い。予め架設箇所に隣接した場所で橋桁を組み立て、それを送出して架設する工法。

手延機：桁端の先端に連結構で取り付けられた仮の桁であり、先行して送出す機材。

小名浜道路概要図



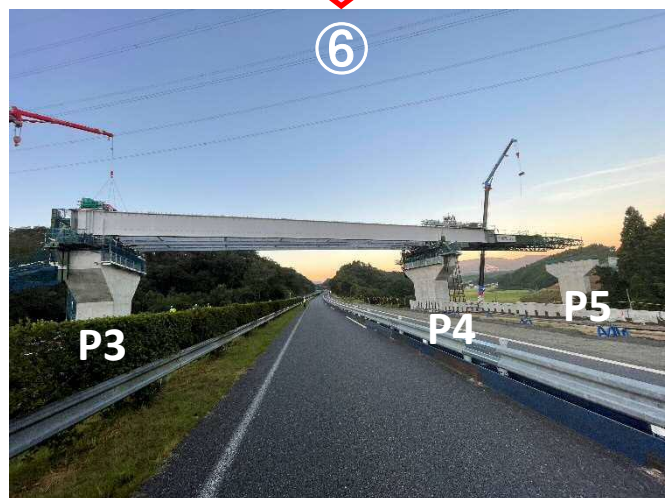
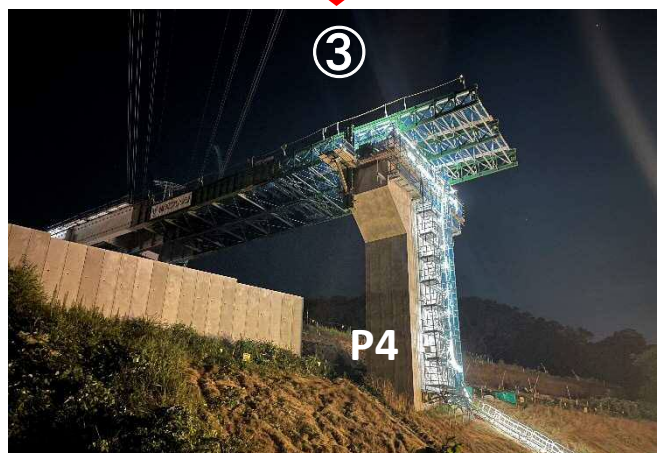
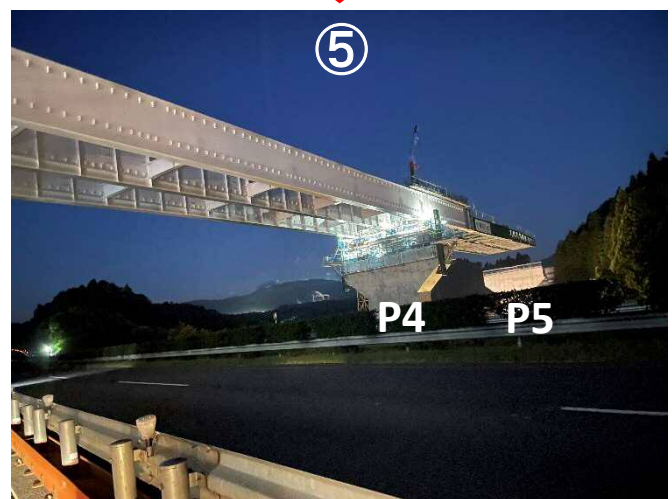
2. 工事の様子

令和5年8月29日(火)に架設の状況が公開され、現場見学会が開催されました。20:00から常磐自動車道が通行止めとなり、東日本高速道路株式会社及び福島県より概要の説明がなされ20:30頃から送出し架設が開始されました。

予めP1橋脚～P2橋脚上で橋桁が地組され、橋桁と手延機が連結されており、送出し装置が目に見えるゆっくりとした速度（毎分1m）で橋桁を押し出していました。ベントと呼ばれる鋼製の支柱の位置と橋桁を見比べることで移動量がわかります。

送出しは、合計99mの延長を7m～22mに分けて6回に分割して進められ、その間に台車の開放や手延機のたわみ処理、橋桁の調整が行われ通行止の時間内に架設が完了しました。

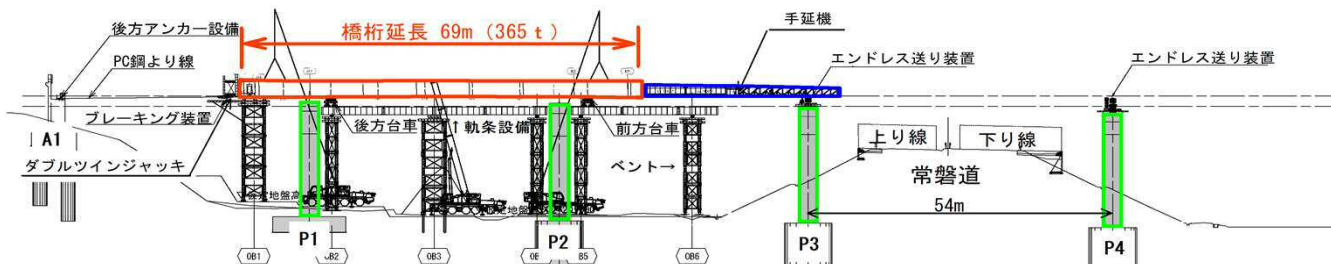
送出し架設状況



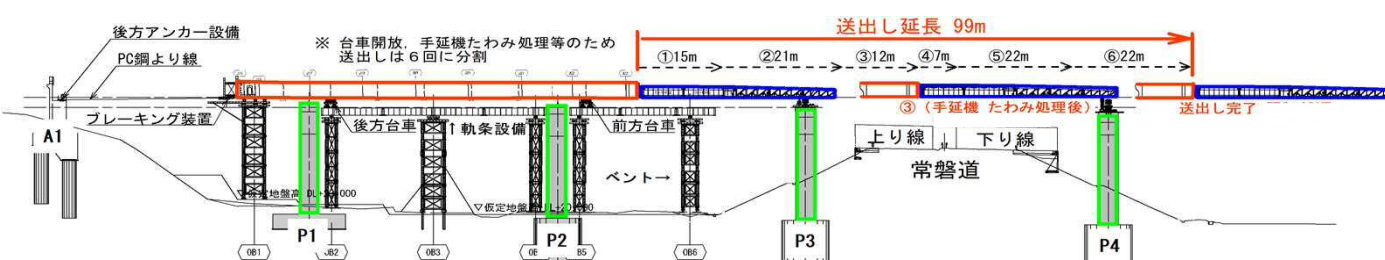
※写真は東日本高速道路株式会社より提供

3. 送出し架設施工ステップ

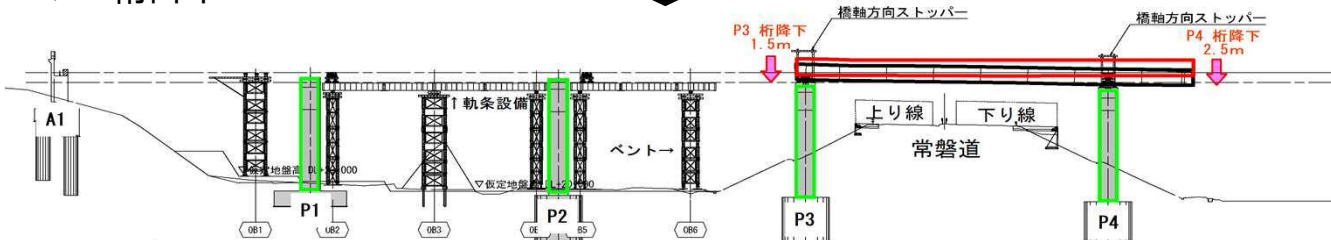
➤ 送出し前



➤ 送出し開始～完了



➤ 桁降下



※送出し架設施工ステップ図は東日本高速道路株式会社より提供

4. おわりに

暑い中、夜間による架設作業は安全に事故なく無事に完了し、通行止めも予定どおり解除されました。常磐自動車道を跨ぐ架設を間近で見ることができ、大変貴重な経験となりました。

見学会を主催されました東日本高速道路株式会社東北支社いわき工事事務所の皆様、工事関係者の皆様ありがとうございました。また、通行止めに御協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

小名浜道路事業は、全ての地区で工事を実施中であり、早期完成に向けて全力で取り組んでいるところです。今回、仮称6号橋の架設により常磐自動車道を跨ぐ2つめの橋梁が架かり小名浜道路事業に弾みがつき、事業の進捗がより分かるようになりました。

引き続き、安全を最優先に工事を進めてまいりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

福島県いわき建設事務所事業部小名浜道路課 文責：計画係長 吉田 秀喜
 〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地 電話0246-24-6220 FAX0246-24-6155
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41380a/>